

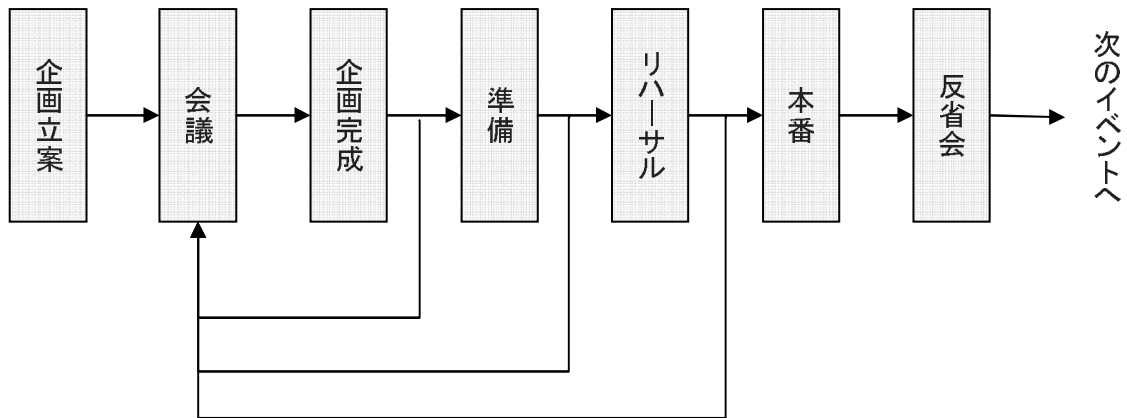
Advanced Creators

07 講習会

第3部 企画・総合 まとめ

氏名 _____

イベントができるまで



◆企画立案

「こんなことをしたい!」というアイデアを形にします。企画を立てる上で最も大切なことは、その企画の目的を明確にすることです。また、イベント成功のために必要な手順を整理し、本番までの見通しを立てることも大切です。

◆会議

立案したものをもとに、関係者同士で話し合いをおこないます。その際、5W1Hをしっかりとおさえなければなりません。

5W1Hとは、以下の要素です。

- ・ Why 目的
- ・ What 内容
- ・ Who 出演者・対象者・スタッフ
- ・ Where 場所
- ・ When 日時・タイムテーブル
- ・ How どのようにしておこなうか

また、本番までの過程の中で不都合や問題が生じたら、その都度会議をおこない、問題を解決できるように企画を練り直す必要があります。

◆企画完成

会議で詳細がまとまったら、それをもとに企画書を作成します。このとき、企画書の用途に応じて、誰が見てもわかりやすい企画書作りを心がけます。

また、この時点で関係者との情報共有をしっかりとおこないます。情報の共有をおこなうことによって、その後の作業を円滑に進めることができます。

◆準備

企画がまとまったら、本番に向けて準備をしなければなりません。まず、本番に必要なものを揃えます。必要なものには、**人材**（スタッフ・演者・観客など）、**費用**、**機材**、**資材**、**各種許可証**などがあります。東京工科大学のサークルとして活動するためには、学生課からいろいろな許可を得なければならないので、忘れないようにしましょう。

大体の準備が整ったら、スタッフ全員で扱う機材のチェックを行い、機材が故障していないかを調べます。もし故障していた場合はその場で直せるものは直し、直せないものは業者に送ります。機材チェックが終わったら、スタッフ全員で各企画書を読み合わせて、変更点や書類不備等の連絡を行いあいます。当日の作業がスムーズに行くようにしっかりと話し合います。

◆リハーサル

ここまで準備してきた企画を形にします。本番の流れを実際にやってみることで、気付いた問題点・改良点を話し合い、より良い企画にするために、関係者と最終確認なども行ったりします。リハーサルが思い通りに進んだとしても、現状で満足せずにより良い手段を考えることも大切です。本番中に起こりうるトラブルを想定し、対処方法を考えておくと、いざというときに役立ちます。

◆本番

準備段階やリハーサルで作り上げてきた企画を、大勢のお客さんに見せる・魅せるために、全力を尽くして本番に臨みましょう。本番中、予想外のハプニングはつきものですが、慌てずに落ち着いて対処して、ハプニングまで楽しめるようなイベントにしましょう。

◆反省会

企画～本番を通して、良かった点ができれば、問題点・改善点もたくさんあります。みんなでしっかりと話し合って、反省点をまとめることで、次回のイベントを行うときに、より良いイベントへと作り上げていくことができます。

実際のイベント例

（例１）アドバン内部のお楽しみ会

■『クリスマス会』

年に一度、サンタクロースを信じてみんなでお楽しみ会を開きます。

（この他にもいろいろなお楽しみ会企画があります！！）

企画立案

アドバン部員が全員で楽しめるイベントを考えます

↓ 会議

大々的な会議を行うことは少ないですが、定例ミーティングなどで企画、スタッフの募集をします。

↓ 準備

運営スタッフ、音響・照明スタッフ、演者、参加者の募集を行います。

運営スタッフは、教室を飾り付けるための資材や、みんなで食べるためのお菓子や飲み物を準備します。音響・照明スタッフは、使用する音響・照明機材を考え、当日の音響・照明を担当します。

↓ リハーサル

このときに会場内の装飾、飲食物の準備をします。

↓ 本番

スタッフ、演者、参加者全員まとめて楽しむ！！

↓ 反省

お楽しみ会でも反省は必要、次にもっと楽しめるようにしっかりと反省しましょう。

（例２）外部団体主催のイベント

■まちおんライブ@立川まちなか

JR立川駅周辺で行われている路上イベントの音響スタッフを担当します。

企画立案

「立川まちおん」が企画立案→アドバンへ仕事の依頼

↓ 会議

アドバン⇔「立川まちおん」の間とアドバン⇔演者の間で、連絡を取り合います。本番が近くなると、両者と直接会ってミーティングを行います。

↓ 準備

アドバン内では、他団体と話し合った内容を元に、スタッフ構成、機材・スケジュール等を決めていきます。また、機材運搬費を確保し、学生課からの活動許可などももらいます。

↓ 本番

当日は多くのお客さん、演者さんが来場して、まさにまちなかがお祭り騒ぎになります。そんな中でスムーズに企画が進行できるように、スタッフ一丸となってスタッフ業に専念します。

↓ 反省

年に数回あるイベントなので、次に活かせるようにしっかりと反省点を話し合います。演者さんからのアドバイスももらっておくと、スタッフにとっても演者さんにとってもプラスになるので、是非恥ずかしがらずに聞けるようにしましょう。

夏合宿1年生企画について

夏合宿1年生企画とは？

夏合宿までのまとめとして、新入部員のみで音響・照明を含んだ総合的な企画をおこなう恒例行事。

スケジュール

6月上旬から本格始動
グループ決め（2グループ）
グループごと企画立案
7月下旬までに企画書完成
夏合宿で本番

ルール

- ・音響、照明機材を使用すること
- ・アドバン全体が楽しめる企画にすること
- ・準備段階で講師などにアドバイスをもらってもいいが、本番の仕込みなどはすべて自分たちの力でやること
- ・企画内容は関係者以外に極力漏らさないこと（他グループとの情報交換もダメ）
- ・できる限りグループの全員に均等に仕事を振ること
- ・与えられた予算内で準備すること

※詳細は後日連絡します。

<MEMO>